

学校評価アンケート 「お気づきの点について記載してください」について

日頃の教職員の対応や生徒との関わりなどについて、多くの感謝や労いのお言葉をいただき、誠にありがとうございました。教職員一同大変嬉しく、今後の励みとなりました。いただきましたご意見について、学校の考えを以下にまとめております。こちらの理解が不十分なものがございましたら、直接学校へご連絡くださいますようお願いいたします。

○ テストの返却について

「テストの返却が遅い。」というご意見をいただきました。

学校では、テスト返却の期限を決め、全教員がその日程までに採点、返却を行っています。通常、テスト終了後1週間程度で返却していますが、週に1時間の教科や、講師が担当している教科については、若干遅くなることもあります。ご了承ください。

○ 荷物の対応、デジタル教科書の導入について

「荷物が重すぎて大変そうです。」というご意見をいただきました。

その日、家庭で使用しない教材は学校に置いていってよいと指導しています。通学かばんが重いというご意見をいただくこともありますが、令和6年度からかばんが自由化されますので、各自の荷物の量で判断してください。

また、「教科書はタブレットで表示(デジタル教科書)が良い。」というご意見をいただきました。

文部科学省・教育委員会では、デジタル教科書の導入を検討し、さらなる荷物負担軽減を目指しています。予算の関係でなかなか進んでいないように思われますが、学校としても要望していきます。進展がありましたら、お知らせいたします。

○ タブレットについて

「タブレットの自宅での管理の難しさ。学習に関係のないことに費やす時間が多くなる。一方で効果的に使用させてもらっているかは疑問。もっと楽しく興味をもてるように使用する、または不登校でも学習に遅れがないように使用することができればタブレットの持参は意味をもつのではないか。」「タブレットについてですが、家庭では制限できないので、YouTube等やりたい放題なのが気になっています。スマホを制限してもタブレットは無制限になってしまっているので意味がないのが現状です。YouTubeの制限もしくは利用時間の開示など、何か対策してもらえると良いのですが。」というご意見をいただきました。

タブレットの制限は江戸川区が管理している物で、葛西二中では変更できません。ご意見があったことを学校から江戸川区教育委員会へ伝えていきます。タブレットを用いた授業については、研修を開き、ICT支援員とも相談をしながら、効果的な活用ができるよう全教員で模索しています。引き続き、生徒が興味関心をもてる授業ができるように、努めてまいります。

○ スクールカウンセラー(SC)について

「スクールカウンセラーさんが、木曜日に来られていることは知りませんでした。」というご意見をいただきました。

今年度、スクールカウンセラーは毎週木曜日に来校しています。年度当初にカウンセラーから案内を配布しております。来年度木曜日になるとは限りませんので、配布いたします案内をご確認ください。わからないことがあれば、学校にご連絡ください。

○ 校則について

「ジェンダー平等の件があり、校則が以前よりゆるくなったことに否定はしませんが、長い髪を結ばずに過ごす姿にやはり違和感を覚えます。(あまり身ぎれいとは思わない)(実際、職場で葛西二中の子は皆髪を結ばず、校則を守らずに荒れているのかと聞かれました。)適切な場面で適切な服装(制服)があるように、適切な髪型等はあるはずです。(会社でも社会でもある一定の髪に関するマナーはあります。)ある一定以上は結ぶというマナーもきちんと身につけさせるべきと思います。受験にしろ地域に出るにしろ、校則でOKであれば社会でもOKと判断してしまう子供が増えると思います。制服を導入しているならば、そのあたりもきちんと教育すべきと考えます。自由という”個”だけにとらわれすぎではなく社会の中で生きていくために一定の社会ルール(制服や身だしなみ義務のある職場は多い)も存在し、そのために校則や身だしなみを整えるということを教えることも必要だと思えます。」というご意見をいただきました。

その通りだと思います。昨年度も校則の改定には、様々なご意見がありました。「プライベートと社会の違いを区別するために校則があると思う。個を守るという権利だけで先行する姿に少々不安がある。」、「それぞれの国にはそれぞれの法律あり、それぞれの社会にはそれぞれのルールや約束事があります。学校も同じで、それぞれの学校にはそれぞれのルールがあって当たり前だと思います。一部の生徒や保護者の意見で校則を変更するのはどうかと思う。」というご意見。髪型については、「必要なときは髪を結ぶなど、何のための校則で何のための規定なのか理解しにくい。」、「朝、調髪にかかる時間が増えた。」、「登下校の様子を見ていると明らかに必要以上に身なりを整えている生徒が増えた。」というご意見がありました。

現在、社会では以前と比較して、服装や頭髪について多様な考え方をするようになってきています。学校も同様に、LGBTQを含め多様な考え方で対応していく必要があると思っています。しかし、いろいろな職業・職種の保護者の方々から、様々な考えや意見が出てくるのは当然であり、すべての生徒・保護者が共通理解のもと校則を改定していくことは難しいのが現状です。改定により、次の課題が新たに生まれることもあります。例えば、ある中学校では、生徒がモヒカン(棟髪刈り)のような髪型にしてきても校則違反でないため注意できない状況が生まれたり、保護者から染髪を認める要求があったりもしています。中には「家庭の判断でいいのでは。」と思う方もいらっしゃると思いますが、中学生は自分で判断するにはまだまだ幼い生徒もおり、安易に他人を真似(まね)る生徒が出てくることもあります。見た目を気にするあまり、学習に身が入らないというケースも珍しくありません。そうすると、「家庭の判断」に委ねるとは言っていられなくなり、どの学校でも改定に苦慮しているのが実情です。

本校では、校則改定にあたって生徒会で意見を出し合い、慎重に検討を進めています。また、改定にあたっては、現行の校則をしっかりと守らせることがまず必要があると考えています。その上で、早急に改定が必要な内容については、慎重かつ速やかに対応していきます。

○ 校則について

「校則がゆるくなり、良いことも多いと思いますが、髪の長い子が後ろの座席の子への配慮がないように見えます。ルールがなくなったらマナーは考えるべきだと思います。」というご意見をいただきました。

その通りだと思います。もし、嫌なことや困ったことがあれば、先生にご相談してください。指導していきます。

○ 情報発信について

「ホームページの情報発信で手紙が出ていること、授業の様子が分かり、子供に声かけができます。」というご意見をいただきました。

本当に有難いご意見です。中学生になると、なかなか学校のことをご家庭で話さなくなるお子様もいらっしゃいます。ぜひ、今後もホームページをご覧になり、ご家庭での話題にしてください。

○ アンケートについて

「このようなアンケート、紙での回答ではなく、tetoru など活用して、ネットでやった方がいいと思います。小学校は tetoru でアンケートの回答など、もうやっています。」というご意見をいただきました。

他校でオンラインによる実施をしたところ、意見があまりでなくなったとの報告があり、本校では紙面での実施としましたが、来年度以降、オンラインによる実施を検討します。

また、「アンケートなら無記名にすべき。」というご意見をいただきました。

このアンケートは無記名でも結構です。案内にも記載があります。

○ 安全指導について

「危険な運転の自転車（学生）がとても多いので、誰かがケガをしてしまわないように、交通ルールの再認識ができる機会があるといいなと思います。」というご意見をいただきました。

毎月、安全指導を実施し、自転車の乗り方についても指導しています。また、東京都が作成した『輪トレ』というアプリを使用し、指導を行いました。今後も引き続き指導してまいります。

○ SNSでのいじめについて

「SNS を使用した、いじめに近いものが見受けられます。」というご意見をいただきました。

SNS の使用に関しては、生徒会から「カニ中 SNS ルール」の発信や生活指導主任からの全体指導、学校だより・生活指導だよりの配布で呼びかけています。また、担任が学級で話したり、学年集会で話題にしたりしています。もし気になるものがありましたら、教えてください。対応をしていきます。

○ あいさつのできる生徒の育成について

「コロナ禍で保護者をはじめ外部からの訪問者が減ったことが原因の一つだとは思いますが、訪問者へのあいさつがコロナ前よりも減ったように感じます。あいさつをする機会がなかったことで、しかたない面はありますが……。強制ではなく、あいさつを交わすことの気持ち良さを子供たちにも知ってもらえたらいいなと思います。」というご意見をいただきました。

その通りだと思います。あいさつは大変重要です。葛二中生の挨拶ができなくなっているというお話を保護者の方から聞くことがあります。学校でも真摯に受け止め、「プライド8」を掲げ生徒に挨拶の励行を促しています。今後も指導を徹底していきますが、挨拶は中学校だけで育成できることではありません。家庭や園・小学校における幼少時の経験も大切です。ご家庭でも、ご協力をお願いいたします。